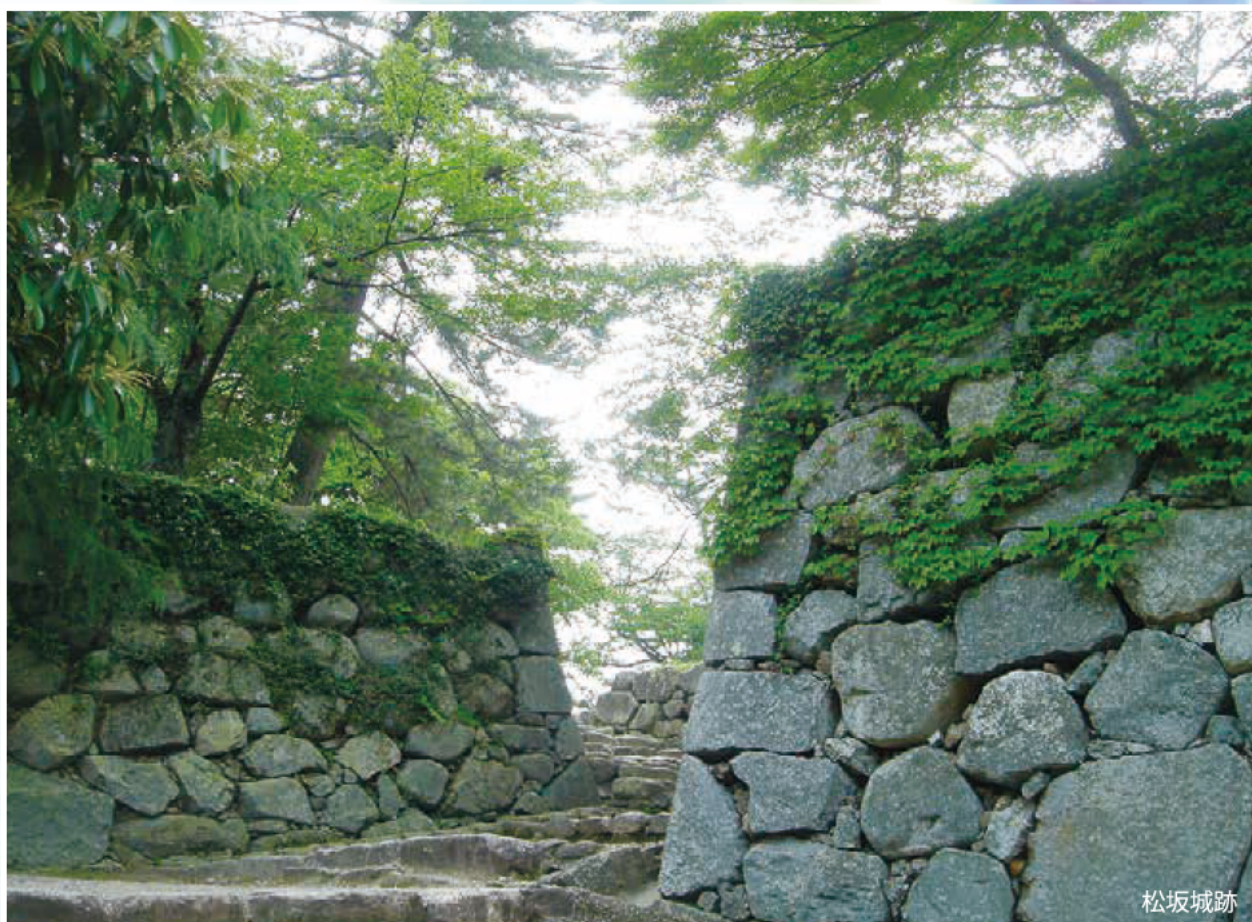


都市計画道路 松阪公園大口線 (主要地方道 松阪久居線)

都市計画道路 塚本垣鼻清生線
(松阪市道 塚本春日線)



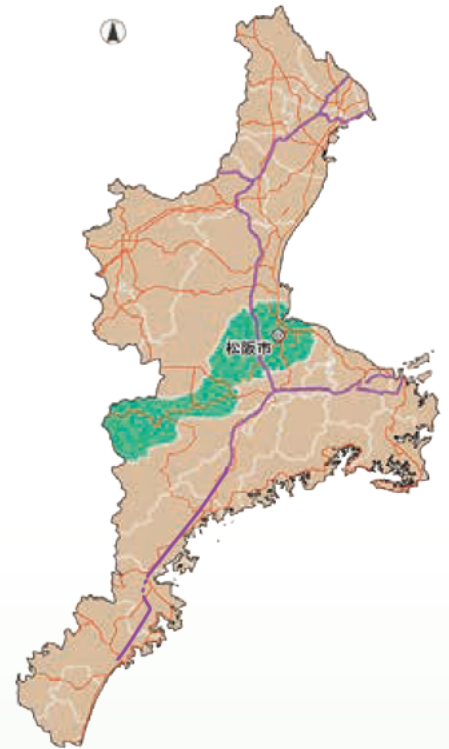
三重県

松阪公園大口線は、松阪市内五曲町地内の県道松阪環状線を起点とし、市道松阪公園桜町線及び県道松阪久居線を経由し、津松阪港に至る延長約 2.4km の都市計画道路です。この沿道には松阪市民病院、松阪市役所、交通結節点である松阪駅、学校など市民生活に密着した公共施設があり、都市内交通の役割を担っています。

この道路は中心市街地と一般国道 42 号・23 号、さらに重要港湾である津松阪港と連絡するとともに、松阪駅を中心とする環状道路とも結節していることから、松阪市域の生活や物流を担う重要な路線であり工業及び商業等の社会生活基盤を支えています。

このうち、松阪市本町～鎌田町周辺では、鉄道との踏切により朝夕の通勤・通学時を中心に慢性的な交通渋滞と、それを避ける通過交通が周辺の生活道路への迂回・進入による住環境の悪化が見受けられるなど多くの課題を抱えています。

当該事業は路線のネック点となっている踏切を立体交差化(アンダーパス)することにより渋滞緩和による円滑な都市内交通の確保、中心市街地へのアクセス機能の強化、歩行者・自転車の安全確保、住環境の改善など快適なまちづくりに貢献することが期待されています。



松阪公園大口線外1線は、松阪市本町からJR紀勢本線・近鉄山田線と交差して松阪市鎌田町の国道42号までの、市道塚本垣鼻清生線を含む延長約820mの街路事業です。また、当事業に合わせて、電線共同構による無電柱化を進めています。

道路名	都市計画道路 <small>まつさかこうえんおおぐちせん</small> 松阪公園大口線 (主要地方道 松阪久居線)	都市計画道路 <small>つかもとかいばなせいせいせん</small> 塚本垣鼻清生線 (松阪市道 塚本春日線)
区間	松阪市本町～松阪市鎌田町	松阪市本町
延長	600.0m	220.0m
道路規格・設計速度	4種2級 40km/h	4種2級 40km/h
車線数・幅員	車道 3.0×2(自歩道 3.0×2) W=6.0(16.0~32.0)m	車道 3.0×2(自歩道 3.0×2) W=6.0(16.0)m
主要構造物	【松阪公園大口線】 鉄道アンダーボックス L=50.0m (内径：幅 14.1m×高さ 5.5m) U型擁壁工 L=140.5m (高さ：2.19m~8.35m) 電線共同溝 L=600.0m 鋼矢板擁壁工 L=63.2m 道路排水施設 排水ポンプ N=2基 【塚本垣鼻清生線】 電線共同溝 L=220.0m	◎事業経緯 昭和 27年 3月 11日 都市計画決定 平成 11年 8月 17日 都市計画変更 (区域変更) 平成 14年 11月 29日 事業認可 (当初) 平成 16年 8月 30日 事業認可 (変更) 平成 19年 9月 19日 事業認可 (変更) 平成 26年 2月 26日 事業認可 (変更)
事業期間	平成 14年度～平成 31年度 (予定)	
事業費	101 億円	

完成予想模型 (イメージ)



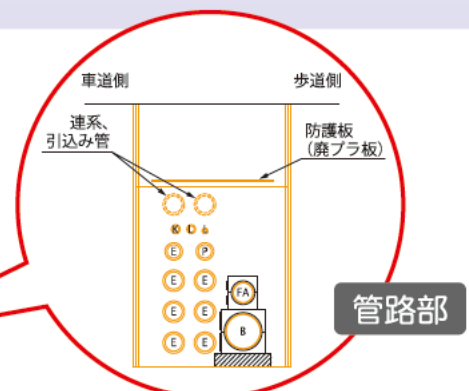
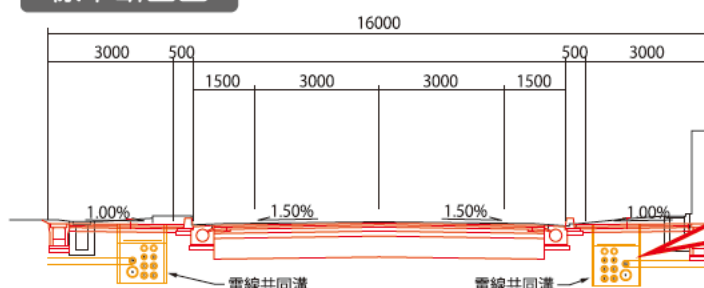
電線共同溝とは

電線共同溝とは、無電柱化の整備手法の一つであり、電線及び架空線により張り巡らされている電力線や通信線を道路の地中空間に收容するための施設をいいます。

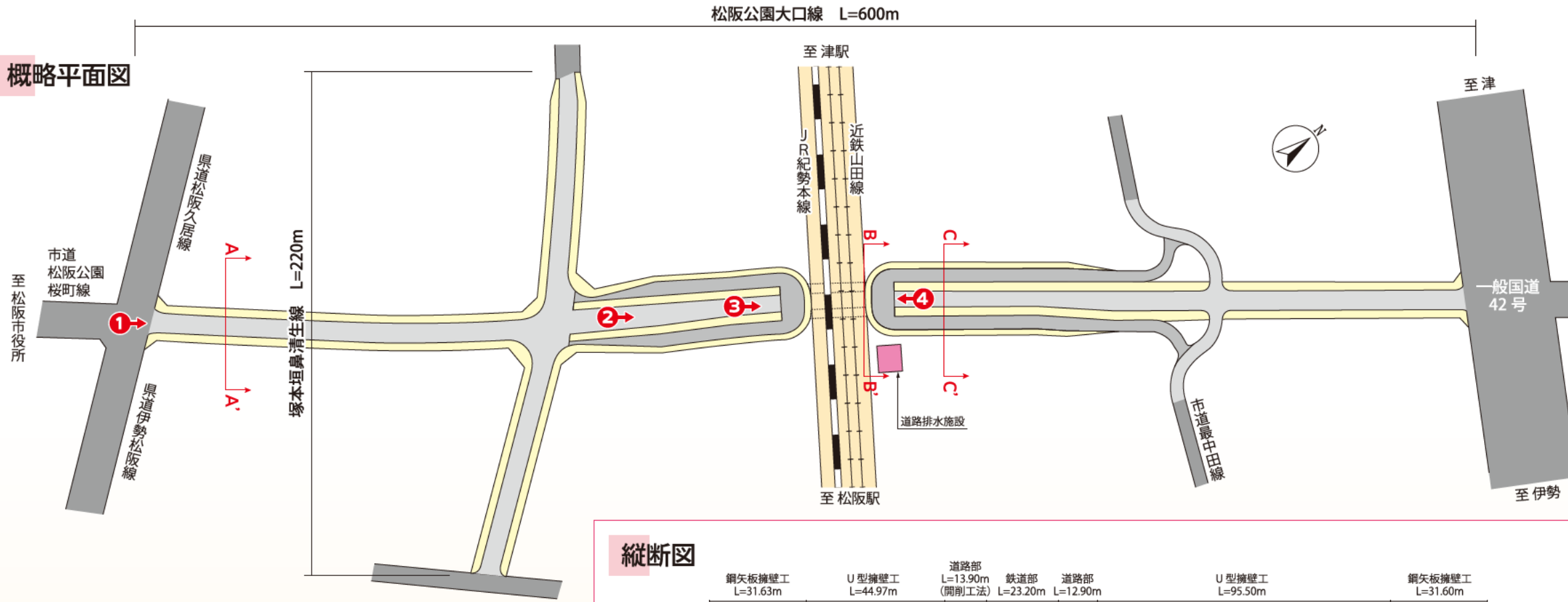
無電線化することにより、次のような効果が期待されます

- 歩道が広く使え、安全で快適な通行空間を確保します。
- 張り巡らされた電線類が見えなくなるため、景観が向上します。
- 災害時に電柱が倒れたり、電線が垂れ下がるなどの危険が無くなります。
- 災害時の回線の被害を軽減し、情報通信ネットワークの信頼性が向上します。

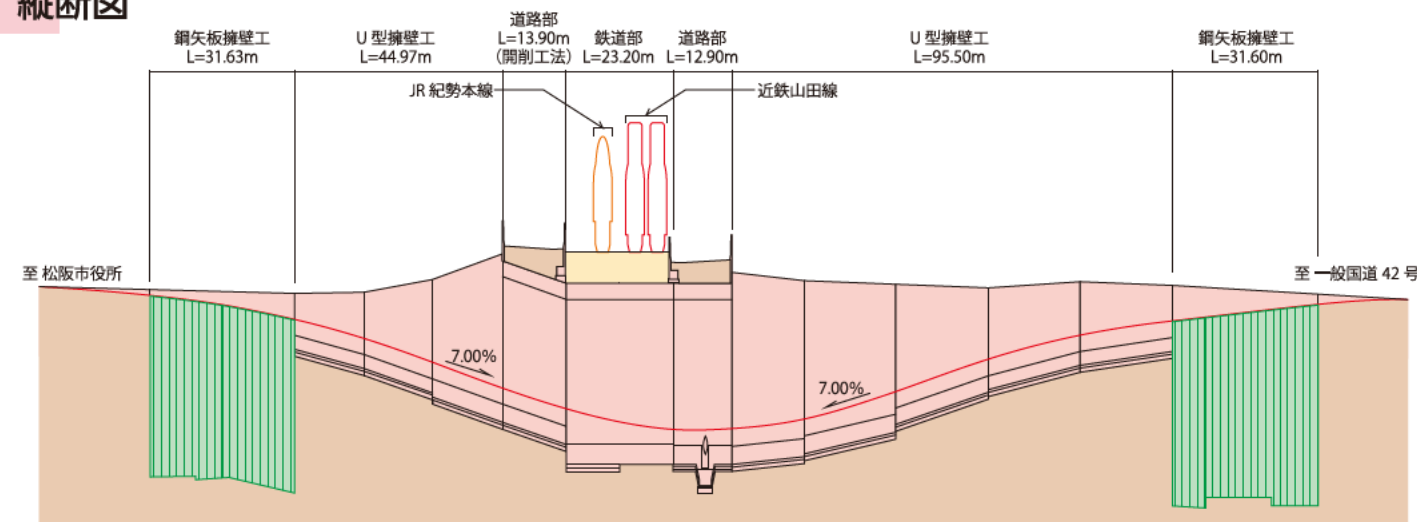
標準断面図



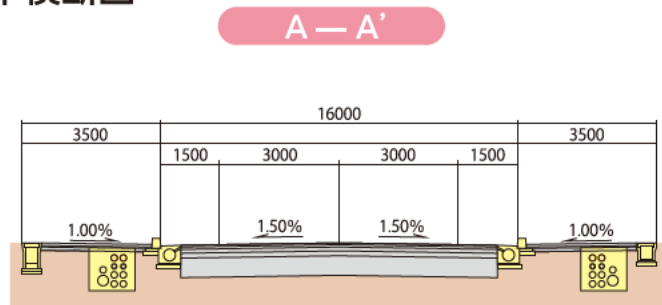
概略平面図



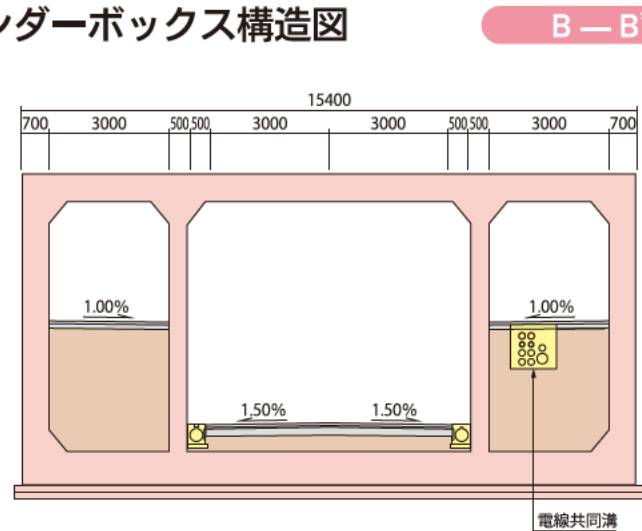
縦断面図



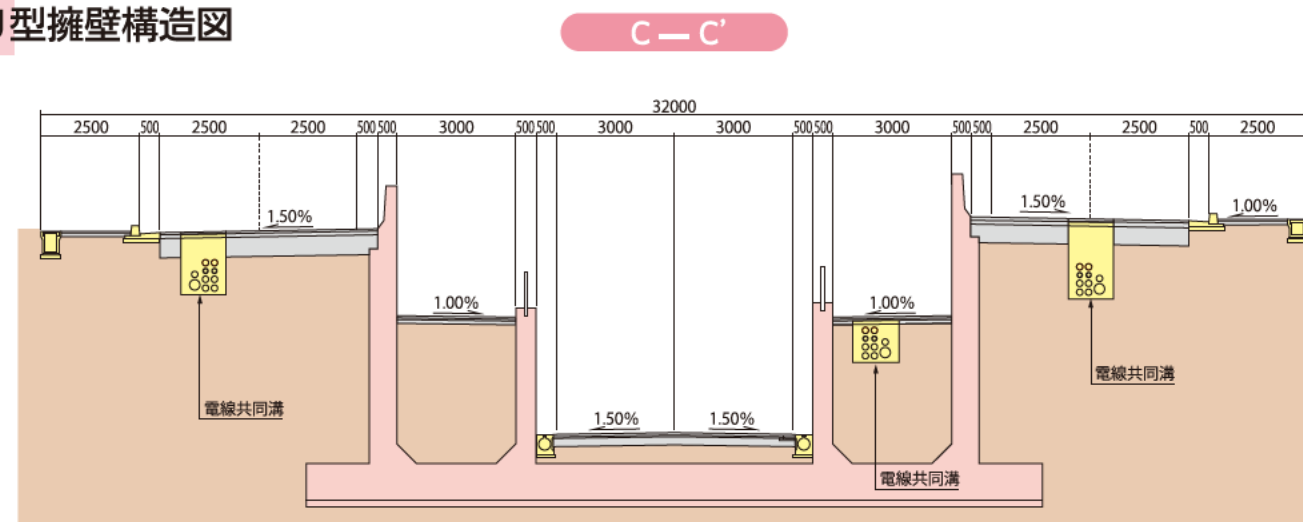
標準横断面図



アンダーボックス構造図



U型擁壁構造図



事業効果

■ 踏切による遮断の解消

踏切を立体交差化（アンダーパス）することで、交通渋滞を緩和するとともに中心市街地と幹線道路との相互アクセス性が向上され、安全で円滑な交通が実現します。



■ 周辺的生活道路の機能回復

慢性的な交通渋滞を回避するために、周辺的生活道路に進入していた迂回する交通車両が、渋滞緩和により減少し、静かで安全な住環境の回復が期待されます。



■ 歩行者・自転車等の安全性の向上

踏切を立体交差化し、両側に自転車歩行者道を設置することにより、鉄道や自動車交通から分離した安全な通行空間を確保し、合わせて自動車交通や鉄道の安全性と円滑性を向上します。



■ 災害時の緊急輸送の機能強化

踏切除切により、交通支障箇所が解消され、地震時などの災害時の救援活動や物資輸送に重要な役割を果たす緊急輸送道路の機能強化が図れます。



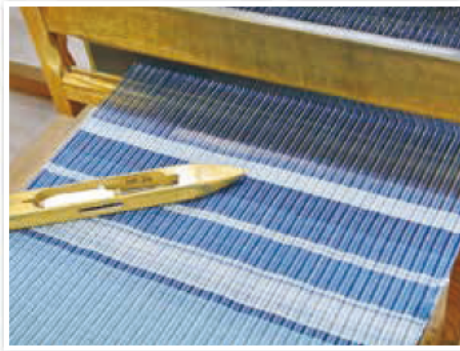
■ 沿道環境の改善

渋滞の緩和により、自動車排出する CO₂ や NO_x が削減されるとともに、アンダーパスや副道を整備することにより、騒音や振動が軽減され沿道環境が改善されます。



■ 快適なまちづくりへの支援

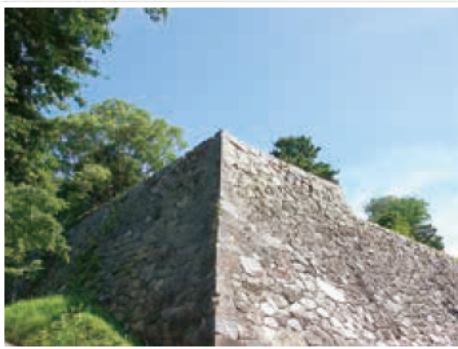
踏切除切により、道路交通の円滑化を図るとともに、鉄道踏切により分断されていた市街地の一体化を図ることにより、安全で快適なまちづくりの推進に効果が期待されます。



松阪木綿



松阪牛



松坂城跡



御城番屋敷



本居宣長宅跡



松阪市イメージキャラクター
「ちやちやも」

三重県 県土整備部 都市政策課

〒514-8570 三重県津市広明町 13
TEL.059-224-2706

三重県 県土整備部 松阪建設事務所

〒515-0011 三重県松阪市高町 138
TEL.0598-50-0590